

2019年度広島教区テーマ「仕える使命（王職）」

（大人の教会学校 2019年7月）

あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、一番上になりたい人は、すべての僕になりなさい。人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。《ルカ 10.43～45》

※《どんぐりと山猫》（宮沢賢治）

山猫から「あした、めんどなさいばんしますから、おいでんなさい。」という奇妙なはがきに誘われて、かねた一郎が山猫を訪ねていく。どのどんぐりが一番偉いか、決着をつける裁判だ。なかなか決着がつけられず困っている山猫に、一郎がアドバイスをする。

「そんなら、かう言ひわたしたらいゝでせう。このなかでいちばんばかで、めちゃくちゃで、まるでなっていないやうなのが、いちばんえらいとね。ぼくはお説教できいたんです。」

山猫は、なるほどとうなずき、いかにも気取って、どんぐりどもに判決をいいわたす。

「・・・このなかでいちばんえらくなくて、ばかで、めちゃくちゃで、てんでなつてゐなくて、あたまのつぶれたやうなやつが、いちばんえらいのだ。」

司牧的な回心が要請する構造改革は、次の意味においてしか理解できないでしょう。つまり、教会の全構造をいっそう宣教へとむかうものとする、すべての領域で通常の司牧活動をより広くいっそう開かれたものとする、司牧に携わる者がつねに「出向いて行く」体制であるよう励ますことです。《使徒的勧告 福音の喜び 27》

※《雨ニモマケズ》（宮沢賢治）

雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ 慾ハナク 決シテ瞋ラズ イツモシヅカニワラッテキル 一日ニ玄米四合ト 味噌ト 少シノ野菜ヲタベ アラユルコトヲ ジブンヲカンヂャウニ入レズニ ヨクミキキシワカリ ソシテワスレズ 野原ノ松ノ林ノ蔭ノ 小サナ萱ブキノ小屋ニキテ 東ニ病氣ノコドモアレバ 行ッテ看病シテヤリ 西ニツカレタ母アレバ 行ッテソノ稲ノ束ヲ負ヒ 南ニ死ニソウナ人アレバ 行ッテコハガラナクテモイゝトイヒ 北ニケンクウヤソショウガアレバ ツマラナイカラヤメロトイヒ ヒデリノトキハナミダヲナガシ サムサノトキハオロオロアルキ ミンナニデクノボートヨバレ ホメラレモセズ クニモサレズ サウイフモノニ ワタシハナリタイ

最初の告知の内容は、神に愛され、神ご自身がわたしたちに注ぐ愛をもって神を愛するよう、わたしたちを招きます。この受容が、人の生活とその行為の中で、最初にして本質

的な反応 — すなわち他者の幸せを願い、求め、それに心を配ること—を引き起こすので
す。《使徒的勧告 福音の喜び 178》

※《農民芸術概論》(宮沢賢治)

世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない